



南筑後外国語教育研究サークル
会長 柳川市立三橋中学校 校長 境 宏文

19名の参加。今回は小学校の先生方の参加が多く、古賀英興先生の小学校での外国語活動の実践発表の後、小学校、中学校、それぞれのグループに分かれて、生徒・児童のゴール像について話し合い、子ども達に身につけさせたい力について様々な意見が出されました。この意見交流は時間切れ・・・となってしまったので、次の機会に更に参加者の声を反映させながら、明らかにさせていきましょう。 文責 古川(広川中)

今村先生のフォニックス講座終了!

今村先生(三橋中学校)による、4月から3ヶ月間の連続(4、5、6月の学習会で)フォニックスミニ講座「音と綴りをつなぐフォニックスの指導」が、今回をもって終了!

中学生の英語学習のスタート時(1年の初期)に文字と音声を結ぶ学習活動「フォニックス」を行うことは、とても意義深いことであることを、今回の連続講座で確信いたしました。3回に渡って今村先生(三橋中学校)がオーストラリアで身につけられた知識・技法、そして、学校で実践されている活動内容を実際にやってみながら、紹介していただきました。今回は、今村先生のご指導のもと三橋中で一緒にフォニックス指導を取り組んである石井理恵先生(新任)にも実践していただきましたが・・・三橋中の生徒が英語能力をめきめきと伸ばしている要因の一つがここにあることを実感しました。

○フォニックス発声練習・・・2語以上の子音の組み合わせ 同じ音を出す単語を連続して練習する。

「sh」・・・letter[s][h]・・・sounds 「ship, shark, shell, sheep」

「ch」・・・letter[c][h]・・・sounds 「chack, check, chick, chock, chuck」等

○フォニックス発音練習・・・1語を入れ替えて練習する。(単語の意味は考えずに)

+ ・・・vog, nog, mog, fog, tog,・・・

<成果> ・一人読みができるようになった。 ・書き取りテストで成績アップ
・新出単語が読めるようになった。 ・日本語読みをする生徒がいなくなった。

古賀先生より 小学校の外国語活動実践発表&授業体験

柳川市立両開小学校の古賀英興先生に、小学校での外国語活動の様子を紹介していただくとともに、児童になって・・・Hi, friends を用いた授業を体験しました。

○導入の工夫

○学習パターン 聞く→リポートする(意味もなく言わせる)→聞いて、動く(言葉と行動が結びついてくる)→考えて使う→表現する

※ 考えて使う場面では、以下のような例が出されました。

・英語で言う数字を繰り返して練習(教科書の絵を見せて、何匹、何個あるか伝える)した後で、その絵の中にあるものの数+1をした数を答える。

・大文字、小文字の認識の場面で・・・ペア対抗(一つのペアが大文字、他方のペアが小文字)。それぞれ、文字札10枚を選んで、相手に見えないように並べておく。Do you have 'S'? と相手に尋ねながら、カード取りをする。

○学習形態の工夫 となりペア、縦ペア、斜めペア、フリー 同じフレーズを何度も繰り返す

○自己決定の場、自己表現の場

YES? NO?
自分はどう?

コミュニケーション能力
自分から行くことが大切!